

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-BD-2016 (Ver.2.1) ■ 使用評価マニュアル: CASBEE-BD-NC-2016 (Ver.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日泉化学(株)埼玉工場 新築工事	階数	地上1F
建設地	埼玉県本庄市堤玉町堤玉中島78	構造	S造
用途地域	準都市計画区域内	平均居住人員	120 人
地域区分	S地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の実施日	基本設計段階評価
竣工年	2019年8月	作成者	2019年7月5日
敷地面積	27,769 m ²	確認日	株式会社GUIS 古澤
建築面積	15,263 m ²	確認者	2019年7月2日
延床面積	15,219 m ²		株式会社GUIS 古澤

2-1 建築物の環境効率率(BEE)とCO₂削減率

BEE = 0.8 ★★★★★

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 92%
 ③上記②以外の 92%
 ④上記+ 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超 ☆☆☆☆☆

2-3 大項目の評価(L-データチャート)

Q1 室内環境 (敷地内)
 Q2 サービエ性能
 Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー
 LR2 資源・マテリアル
 LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(L-データチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

1	音環境	3.0
2	温熱環境	3.0
3	光環境	2.6
4	空気質環境	3.6
5		

Q2 サービエ性能 Q2のスコア = 3.0

1	機能性	3.2
2	耐用性	2.9
3	対応性	3.0
4		
5		

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.3

1	生物環境	3.0
2	まちなみ	2.0
3	地域性	2.0
4		
5		

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.7

1	建物外皮の自然エネルギー	5.0
2	設備システム	3.0
3	効率的	2.5
4		
5		

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

1	水資源	3.0
2	非再生材料の汚染物質	2.4
3		
4		
5		

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

1	地球温暖化	3.3
2	地域環境	2.5
3	周辺環境	3.0
4		
5		

3 設計上の配慮事項

総合	敷地内に緑地を多く取り、周辺環境と景観に配慮。	その他	特になし。
Q1 室内環境	内装材にF☆☆☆☆材を使用し、室内環境に配慮した。	Q2 サービエ性能	天井高を2.7m以上、また人員配置に対して執務スペースを広く取り室内の機能性を高めた。
LR1 エネルギー	建物全体にLED照明を採用。	LR2 資源・マテリアル	特になし。
Q3 室外環境 (敷地内)	緑化率を20%以上とし、環境負荷の軽減に努めた。	LR3 敷地外環境	適切な台数の駐車・駐輪スペースを確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
1	階高のゆとり	3.0	0.30						3.0
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.60						
		3.0	0.40						
		3.0	0.30						
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									
1	空調配管の更新性	3.0	0.40						
2	給排水管の更新性	3.0	0.20						
3	電気配線の更新性	3.0	0.10						
4	通信配線の更新性	3.0	0.10						
5	設備機器の更新性	3.0	0.20						
6	パワージェネレータの確保	3.0	0.20						
Q3 室外環境(敷地内)									
1 生物環境の保全と創出									
1	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30						2.3
2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40						3.0
3 地域性・アミノ酸への配慮									
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.30						2.0
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50						
		2.0	0.50						
LR 建築物の環境負荷低減性									
LR1 エネルギー									
1 建物外皮の熱負荷抑制									
2	自然エネルギー利用	5.0	0.01						5.0
3	設備システムの高効率化	3.0	0.12						3.0
4	効率的運用	2.5	0.62						2.5
4 効率的運用									
集合住宅以外の評価		3.0	0.25						3.0
4.1	モニタリング	3.0	1.00						
4.2	運用管理体制	3.0	0.50						
集合住宅の評価		3.0	0.50						
4.1	モニタリング								
4.2	運用管理体制								
LR2 資源・エネルギー									
1 水資源保護									
1.1 節水									
1.1	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.20						2.8
1.2	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.40						3.0
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.60						
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.70						
		3.0	0.30						
2 非再生性資源の使用量削減									
2.1 材料使用量の削減									
2.1	既存建築躯体等の継続使用	2.4	0.60						2.4
2.2	躯体材料におけるリサイクル材の使用	2.0	0.11						
2.3	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.22						
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.22						
2.5	持続可能な森林から産出された木材	1.0	0.22						
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	-	-						
		3.0	0.22						
3 汚染物質含有材料の使用回避									
3.1 有害物質を含まない材料の使用									
3.1	フロア・天井の回避	3.7	0.20						3.7
3.2	フロア・天井の回避	3.0	0.30						
1	消火剤	4.0	0.70						
2	発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50						
3	冷媒	3.0	0.50						
LR3 敷地外環境									
1 地球温暖化への配慮									
ラゲサイクルCO2排出量が94%		3.3	0.33						2.9
2 地域環境への配慮									
2.1 大気汚染防止									
2.1	温熱環境悪化の改善	2.5	0.33						2.5
2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.25						
2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.0	0.50						
2.3 地域インフラへの負荷抑制									
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25						
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25						
3	交通負荷抑制	3.0	0.25						
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25						
3 周辺環境への配慮									
3.1 騒音・振動・悪臭の防止									
1	騒音	3.0	0.40						
2	振動	3.0	0.33						
3	悪臭	3.0	0.33						
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制									
1	風害の抑制	3.0	0.40						
2	砂塵の抑制	3.0	0.70						
3	日照阻害の抑制	3.0	-						
3.3 光害の抑制									
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.30						
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.20						
		3.0	0.70						
		3.0	0.30						

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版











1 建物概要

建物名称	日泉化学(株)埼玉工場 新築工事	BEE	0.7	BEEランク	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
3.2	+	2.3	=	5.5
				

重点項目の各スコアへの合計点

がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上
	 	  	   

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.2

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.2

ライフサイクルCO2排出率94%

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.3

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア 3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア 2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア 2.0

敷地内に十分な面積の緑地を確保。

: 入力欄